

## 第41回遺伝子研究安全管理協議会総会議事要旨

日時：令和7年11月14日（金）10：00～11：50

場所：東京・両国 KFC Hall & Rooms 及びオンラインWEB会議（ハイブリッド開催）

### 1. 開会の辞

遺伝子研究安全管理協議会総会安全研修会担当幹事である石井氏（住友化学）より開会の挨拶があり、併せて総会の定足数（正会員116部署等のうち78部署以上）を満たしていることが報告された。

正会員116部署のうち委任状を含め110部署が参加した。

### 2. 主催者挨拶

主催者を代表して、代表幹事 畠田氏（群馬大学）より挨拶があった。

### 3. 議長選出

議事に先立ち、議長を代表幹事 畠田氏（群馬大学）が務める旨の提案があり、了承された。

### 4. 議事

#### 1) 新規会員等の参加報告

遺伝子研究安全管理協議会 事務局 古関氏より、新たに正会員7部署が参加、暫定会員→正会員への種別変更が1部署、2つの大学が統合により1部署になった会員の報告があった。

#### 2) 文部科学省施策説明

##### ①カルタヘナ法について

文部科学省 研究振興局 ライフサイエンス課 生命倫理・安全対策室 専門職 上田氏より、カルタヘナ法における以下の点に関する資料に基づき説明があった。

##### ・カルタヘナ法の概要について

##### ・研究開発段階の第一種及び第二種使用等について

第二種使用等については、令和7年3月に実施された、大臣確認申請に関する規定の見直しについて説明された

##### ・大臣確認申請した項目に変更が生じた場合の報告様式について

##### ・遺伝子組換え生物の不適切な取扱いの過去事例について

##### ・災害時等における拡散防止措置に係る対応について

##### ・ゲノム編集技術の利用により得られた生物の取扱いについて

##### ②学術政策に係る最近の動向について

文部科学省 研究振興局 大学研究基盤整備課 研究設備・支援係 係長 乾氏より、学術政策に係る最近の動向における以下の点に関して資料に基づき説明があった。

- ・令和8年度概算要求事項について
- ・第7期「科学技術・イノベーション基本計画」の検討状況等について
- ・事件・災害等に関する緊急連絡について

### 3) 2024年度事業報告

#### ①第16回遺伝子組換え実験安全研修会

副代表幹事 松下氏（東京農工大学）より、資料に基づき、第16回遺伝子組換え実験安全研修会の報告があった。

#### ②教育訓練講師紹介

副代表幹事 松下氏（東京農工大学）より、資料に基づき、遺伝子協から教育訓練講師を派遣し、教育訓練を行なった旨の報告があった。

#### ③文部科学省による遺伝子組換え研究の規制の見直しに係る説明会

副代表幹事 松下氏（東京農工大学）より、資料に基づき遺伝子協会員限定で、大臣確認申請の条件見直しについての説明会を、Zoomセミナー形式で実施した旨の報告があった。

### 4) 2024年度決算報告

会計担当幹事 松村氏（信州大学）より資料に基づき、2024年度の決算報告があった。監事 田中氏（広島大学）より、監事 吉識氏（理化学研究所）と会計監査を実施し、適切に会計処理がなされていることを確認した旨の報告があった。これに対し、特段の意見はなく、承認された。

### 5) 委員会等報告

副代表幹事 松下氏（東京農工大学）より、資料に基づき、以下の委員会及びワーキンググループの活動について報告があった。

1. 幹事会
2. 広報委員会
3. 組換え生物等委員会
4. 教育教材開発委員会
5. 将来構想委員会
6. 審査手続き検討委員会
7. AI 審査検討ワーキンググループ
8. 大臣確認申請支援ワーキンググループ

大臣確認申請支援ワーキンググループ（WG）については、2025年4月1日に「大臣確認申請

対策委員会」が設置され、委員会により必要な支援活動が開始されたことで、WG の役割は終了したとして 2025 年 3 月 31 日に廃止となったことが報告された。

#### 6) 委員会新設について

大臣確認申請支援ワーキンググループ（WG）から昇格する形で、大臣確認申請対策委員会が新設されたことが報告された。

大臣確認申請対策委員会の発足については、委員会は本来総会での承認を経て設置することになっているが、2025 年 3 月に大きな法改正がありこれに対応するため、特例として総会を待たず 4 月より活動を始めていたことを報告し、本総会において 2025 年 4 月に遡って承認することで了承を得た。

#### 7) 2026 年度予算案・事業計画

代表幹事 畠田氏（群馬大学）より、資料に基づき、2026 年度の事業計画・予算案について説明があった。これに対し、特段の意見はなく、承認された。

#### 8) 2026 年度役員及び事務局

代表幹事 畠田氏（群馬大学）より、次期役員の自薦他薦の求めがあった。会員からは声が上がらなかったことから、畠田氏より、資料に基づき、次期役員及び事務局体制について提案があった。これに対し、特段の意見はなく、承認された。

#### 9) その他議事

その他議事について、会員からの提案はなかった。

### 5. 次回総会の告知

代表幹事 畠田氏（群馬大学）より、次回総会が 2026 年 11 月 27 日（金）鳥取県立生涯学習センター(県民ふれあい会館)にて開催予定であることが告知された。

### 6. その他

会員からの提案や意見などはなかった。

### 7. 閉会の辞

副代表幹事 荒木氏（熊本大学）より閉会の挨拶があった。

以上